

# 小噺・落語入門サロン

## ■ 前座 (今日の話題・話のネタ)

ヒライ流「いろは歌」  
落語歳時記シリーズ

YouTube →



### 12月の落語「芝浜」

『芝浜』は古典落語の演目の一つ。三遊亭圓朝の作とされるが不確か？  
寄席で客から三つのお題「酔っぱらい」「財布」「芝浜」を貰い即興で  
作った落語「三題噺」である。夫婦の愛情を暖かく描いた屈指の人情噺  
として知られるようになった。大晦日に演じられることが多い。

天秤棒一本で行商をしている魚屋の勝は、腕はいいが酒好きで、飲みすぎて失敗が続き、  
うだつが上がらない、裏長屋の貧乏暮らし。その日も女房に朝早く叩き起こされ、魚市場に  
仕入れに向かう。しかし時間が早過ぎたため市場はまだ開いていない。誰もいない夜明けの  
浜辺で顔を洗い、煙管を吹かしているうち、足元に海中に沈んだ革の財布を見つける。  
拾って開けると、中には目をむくような大金。有頂天になって自宅に飛んで帰り、飲み仲間  
を集めて大酒を呑む。

翌日、二日酔いで起き出した勝に女房、こんなに呑んで支払いをどうする気かとおかんむり。  
勝は拾った財布の金のことを訴えるが、女房は、そんなものは知らない、お前さんは酔った  
まぎれの夢に見たんだろと言う。どこにもない。彼は愕然として、財布の件を夢と諦める。  
つくづく身の上を考えなおした勝は、これじゃいけねえと一念発起、断酒して死にもの狂いに  
働きはじめる。懸命に働いた末、三年後には表通りに店を構えることができ、生活も安定  
した。そしてその年の大晦日の晩のことである。勝は妻に対して献身をねぎらい、頭を下げる。  
すると女房は、三年前の財布の件について告白をはじめ、真相を勝に話した。

事実を知り、例の財布を見せられた勝は妻を責めることはなく、自分を真人間へと立ち直ら  
せてくれた妻の機転に強く感謝する。妻は久しぶりに酒でもと勧める。杯を手にする。  
呑もうとするが「よそう。また夢になるといけねえ」

## ■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間 “落語に登場する人物”

<https://www.youtube.com/watch?v=Ex-XqYMNGg4&t=166s>

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

## ■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「ワイン」「美術館」とかけて

次回は2025年1月6日(月)「おせち料理」「おみくじ」とかけて